



砂の惑星

DUNE ユニヴァーサル映画 CIC配給

池上遼一・画

主要登場人物紹介

フランク・ハーバートの大作「砂の惑星」は、一九六五年に発表されて以来、ベストセラーを続け、SFファンにデューン・シリーズで親しまれ、幾度となく映画化が試みられてきたが、そのぼう大なスケールの為に、それは不可能とまでいわれた。

そして、遂に国際的プロデューサー、ディノ・デ・ラウレンティスが、待望の映像化に成功したのである。

製作・総指揮は、ディノ・デ・ラウレンティスの娘ラファエラ・デ・ラウレンティス。監督は鬼才デビッド・リンチ。特殊効果は「レイダース」/失われたアーク」でアカデミー賞受賞のキット・ウエスト。イメージ豊かな生物デザインは「エイリアン」「E.T.」のクリエーターとしてアカデミー賞受賞のカルロ・ランバルディ。プロダクションデザインは「二〇〇一年宇宙の旅」のトニー・マスタース、と現代SF界の最高スタッフが顔を揃えている。

メキシコロケに約一年、一〇〇〇人以上のクルー、一五〇〇〇人のエキストラ、総製作費は五〇〇〇万ドルを超える。いまだかつてどんなSFにも登場しなかった未来世界、世紀を越えたエピック・ロマン、リンチ美学の集大成が「砂の惑星」なのだ！

物語は西暦一〇一九一年からはじまる。宇宙は皇帝と宇宙協会、惑星を領土とする公家連合の三大勢力に支配されていた。

時の皇帝シャツタム四世は、アトレイデス家に砂丘（デューン）と呼ばれる惑星アラキスを新たな領土として与えた。アラキスこそ不老不死のスパイス、メランジの唯一の産出星であり、それを支配する者は宇宙を支配すると言われる惑星であった。だが、皇帝の真意はアトレイデス家の滅亡を狙っていたのだ。アラキスに移住するアトレイデス一族を待っていたのは、皇帝と密着した仇敵ハルコネン家の陰謀と苛酷な風土、そして想像を絶するサンド・ウォーム（砂虫）の出現であった。宇宙を支配する邪悪な権力に敢然と挑戦するアトレイデスの王子ポール。壮大な戦いがいま始まる。

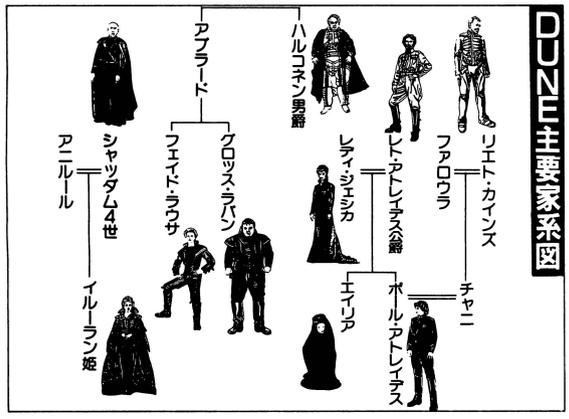
(ユニヴァーサル映画・CIC配給)

◆ポール・アトレイデス

公爵レト・アトレイデスと母ジェシカとの間に生まれた若き王子。予知能力や念力などの超能力を持ちながら、それに気づいていない。気高い心と勇気を父から受け継ぎ、宇宙を支配する邪悪な権力に敢然と立ち向かう。未知の惑星デューンで砂漠の民フレレーメンのリーダーとなり、強大な敵に挑戦していく。ハルコネン家のフェイトとは宿命のライバル、壮絶な戦いをくり広げる。

◆レディ・ジェシカ

ポールの母、アトレイデス公爵の側室。男の子を産んではいけないという教団の掟を破りポールを産む。ハルコネンの襲撃に遭い、最愛の夫を失いながらも、ポールと共に砂漠に逃れ、フレレーメンに迎えられる。そしてフレレーメンの儀式を司る教母ラマロの後継者となり、ポールの妹エイリアを産む。砂漠に身を隠して、ポールやフレレーメンと共に復讐の時期をうかがう美しい母である。



◆レト・アトレイデス公爵

惑星カラダンを領地とする大公家アトレイデスの名君。ポールの父。公爵の勇氣、正義感、思いやりを慕う臣下も多いが、そのために皇帝の怒りを買う。畏と知りつつ、ハルコネンの陰謀渦巻くデューンに、一族をひきつれて移住する。ハルコネン家とは宿敵の間柄で、一族の中に敵の放ったスパイがいることに気づいていない。そして、ドクター・ユエの裏切りにより、非業の最期をとげる。

◆ハルコネン男爵

ハルコネン家の当主。惑星アラキスを統治し、そこで産出するメランジにより莫大な富を築く。皇帝の命を受け、アラキスをアトレイデス家に引き渡すが、それは公爵家を滅亡させる罠なのだ。性格は陰険、血を好むグロテスクな趣味など、SF史上、最大最強の悪人であろう。肥りすぎの為、自分の体重を支えられず、常に反重力装置を用い、宙に浮かんでいなければならない。

◆フェイト・ラウサ・ハルコネン

ハルコネン男爵の甥。怪力ラバンの弟である。しなやかな肉体は鋼のように鍛えぬかれ、恐ろしい格闘技を身につけたポールの宿命のライバルである。性格は陰惨にしてどう猛、人間の生命を軽んじる、許すことのできない悪の心を持っている。アトレイデス家を奇襲し、アトレイデスの側近スウィル・ハワトを捕え、恐ろしい拷問にかける。そして、ポールとすさまじい一騎打ちをくり広げるが。

◆シャツタム四世

大皇帝。広大な銀河帝国は、皇帝、宇宙協会、大公家の三者によって支配されていた。彼は、惑星アラキスをハルコネン家からアトレイデス家に譲らせることで、宿敵の両家を争わせ、双方の勢力の弱体化をねらっているのだ。さらにナビゲーターの予言により、ポール暗殺を企てる策謀家でもある。アトレイデス家襲撃後、再びメランジ採掘の権利をうばうハルコネンに生産の増大をせまらる。

◆イルーラン姫

シャツタム四世大皇帝の第一皇女。教団の訓練を受けている。金髪、緑の瞳。尊大な物腰をした美女。自分の文学的才能に自信を持っている。

◆チャニ・カインズ

ドクター・カインズの娘。妖精のような顔に愛らしい肢体。だが、フレレーメン女性の強靱さも兼ね備えている。

◆エイリア・アトレイデス

アトレイデス公爵とレディ・ジェシカとの間に産まれた娘。ポール・アトレイデスの妹にあたる。

◆教母ヘレン・モヒアム

ベネ・ゲセリット教団の教母。教団は女子のために作られた学校で、教母は自らの記憶を共有することができ、予知能力も兼ね備えている。

ヘレン・モヒアムはその超能力を駆使し、シャツタム皇帝の側近の役割をつとめる。ポールの母ジェシカや、フレレーメンの教母ラマロ、イルーラン姫の師でもある。だが、その超能力もポールほどのエネルギーはない。